

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和6年7月27日発行

No.5

本校の「強み」「魅力」

副校長 岩淵 浩憲

コロナウイルス感染症の影響を受けた4年間の教育活動を踏まえつつ、第I期は、本校の「強み」「魅力」を改めて捉えなおし、発信していくことを目標に掲げスタートいたしました。

本校の「強み」「魅力」とは、「学び合い」が教育活動全般において展開されているところです。

昨日行われた研究大会では、『『自他』を往還し批判的・創造的に学ぶ生徒』を研究の目的として、その実現の様子を生徒の姿をとおして参会した皆様に見ていただくことができました。この研究においては、生徒が自分自身の考えや他者の考えを批判的に捉え直したり、他者との関わりをとおして自分の考えの不足している視点に気付いたりするなど、そこには「学び合い」をベースとした授業が必ず展開されることとなります。参会した皆様からは、「生徒が自他の考えを擦り合わせながら、批判的・創造的に考える姿をみることができた」や「既習の知識を用いてグループの仲間とともに課題解決する姿が立派だった」という「学び合い」に関わる感想が多く寄せられました。I期を振り返り、日々の教科の授業に加え、入学式、旅行的行事、生徒総会、総合的な学習の時間等の全ての教育活動において「学び合い」が展開され、その過程において成長している生徒の姿を研究大会において発信できたのだと感じました。

保護者の皆様におかれましては、PTA活動をはじめ様々な学校行事の際に学校に足を運んでいただき、お子様の学びと成長を支えていただきました。授業参観はもちろんのこと、父親委員会やPTA懇談会、総合的な学習の時間等において実際に参画していただきました。

夏休み明けには、藤華祭、合唱祭など行事も予定されております。今後たくさんの保護者の方に、参加いただき本校の「強み」「魅力」でもある「学び合い」と「学び合い」により成長した生徒の姿を見ていただきながら、学校とともに支えていければと思っております。

エネルギーを充電する1か月に

養護教諭 小山内 日和

保健室には、日々、様々な心身の不調を抱えたお子様がやってきます。保護者の皆様におかれましては、急なお迎え対応にもかかわらず、いつも丁寧・迅速にご対応いただきまして、本当にありがとうございます。

保健室で生徒とかかわる日常の中では「でも、テスト前だから休めない」「でも、みんなはもっと頑張ってる」など、そんな言葉が聞こえます。

生徒たちは、毎日、色々なストレスと戦っている様子が見受けられます。原因は何だろう?と一緒に考えるうちに、「成績」「進路」「友人関係」「家のこと」など、色々なものが可能性として挙げられます。その中でも、私が保健室で意外と多いと感じているのが「自分でもよく分からないけれど、しんどい」という状態です。

夏休み期間中も、夏期講習や習い事にと、忙しく過ごす生徒も多いのではないのでしょうか。旅行やキャンプに行ったりする予定のご家庭も多いと思います。生徒は、色々なことにエネルギーを使います。楽しいときも辛いときもエネルギーを使うので、それが枯渇してしまうと「しんどく」なります。「しんどい」が続くと、様々な活動が辛く感じてしまいます。

一方で、子どもには、「しんどい」ときに「自分で回復する力」があると信じています。ただし、エネルギーが切れていると、その「回復する力」すら発揮することができません。エネルギーの充電場所は、生徒それぞれの御家庭です。夏休みは学校に来ない分、できる限りお家で充電をしてきてほしいと思っています。

ふとしたお休みの中で、もし、生徒が弱みやネガティブな気持ちを打ち明けたら、手を止めて、ゆっくり耳を傾けてあげてください。生徒の心と体が「しんどそう」でしたら、一緒に和らげる方法を考えてあげてください。

そして、ぜひ充電 100%になった生徒たちと、2学期に会えることを楽しみにしております。「登校日が近づいてきたけれど、うまく充電が溜まってなさそう…」そんなときは、ぜひ学校宛にご連絡ください。ご一緒に、生徒にとって無理のないスタートを考えていきたいと思います。何より、また一か月後に、元気な「おはようございます」を聞けることを楽しみにしています。

それでは、心も体もリフレッシュできるような夏休みをお過ごしください!

■附属小中学校卒業生ミカ・ハスラーさん演奏会

7月1日、本校の第9期生であるミカ・ハスラーさんと、同じく第9期生である杉野目惇さんが来校されました。ハスラーさんはアメリカのヒューストンに在住するバイオリニストで、アメリカ、ヨーロッパを中心とした演奏活動と、後進の育成をされています。その教え子であるウェンロン・ジャクソンさん(バイオリニスト)と、ゼンジ・ホアンさんも同時に来校され、小学生、中学生のために演奏を行っていただきました。途中、ハスラーさんから「今の曲にタイトルをつけるとすれば、どんなタイトルになりますか?」と質問があり、その質問に対して中学生や小学生が積極的に手を挙げて答える場面もありました。

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/I033509/> (北海道新聞にも掲載されました)

■教員基礎探究実習

7月2日(火)に、北海道札幌北陵高等学校、北海道大麻高等学校、北海道滝川高等学校の3年生11名が来校しました。将来は教師になりたいという希望を持っていて、自分の将来の夢をより明確にしようと考え、自主的にプログラムに参加に参加した高校生です。本校の卒業生も参加していました。当日は1年 A~C 組にそれぞれ入り、授業の観察や昼休みを中心に本校生徒と触れ合い、最後は道徳の授業を行いました。慣れないながらも一生懸命授業をする高校生の姿から、生徒もたくさんのことを学んでいました。



■PTA バザー収益による MacBook の購入

昨年度寄贈いただいた PTA 厚生委員会主催による藤華祭バザーの収益を利用させていただき、新たに MacBook を2台購入しました。生徒会などの活動の際に、大切に使用させていただきたいと思います。PTA 厚生委員会の皆様の活動に心から感謝申し上げます。



■離任する教職員からの言葉

5月より育児休業のためにお休みしていた仲鉢大地教諭に代わって理科の授業を担当した池田菜那先生が退任することとなりました。池田先生からの言葉を紙面に紹介させていただきます。

池田 菜那 講師

附属札幌中学校で過ごした期間は、日々学びの連続でした。授業では主に1年生と2年生の理科を担当させていただきましたが、生徒の皆さんが教材を活用して課題の解決に取り組んだり、主体的に意見交流をしたりする姿が印象的でした。また、何事にも一生懸命取り組み、常に努力し続ける皆さんに日々励まされていました。

約3ヶ月という短い期間ではありましたが、皆さんと共に学ぶことができ、大変嬉しく思います。本当にありがとうございました。10月からは教職大学院の実習生としてまた附属札幌中学校にお世話になりますので、今後もよろしくお願いいたします。

8月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
27(火)	夏季休業	
28(月)	授業開始集会／選挙管理委員会	16:20
29(火)	前期末テスト①(国・数・社・理・英)	15:20
30(水)	前期末テスト②(音・美・体・技家)	13:10
31(土)	第2回オープンスクール・学校説明会	12:30